

【パターン Ⅰ】

農業生産活動 鳥獣被害 繰り返し 放棄
藪・雑木・林地化

生産意欲はあったが、度重なる鳥獣被害が原因であきらめざるを得ず放棄した場合。

このタイプは、効果的対策が早急に実施されていれば、遊休化は防げたと思われる。

各地で多く見られるため、早急に効果的対策の情報提供や技術指導が重要。

ただし、地形あるいは栽培形態（自家用のみなど）、経営の事情（高齢化）によっては、経費負担等の問題で導入が難しいことが予想される。



高山村福井原

サルの害で野菜を作れなくなり、開拓地全体が荒廃化進む。今はサルが減り、クマが出るようになり、作業の安全も脅かされる。



上田市武石

山際に造成された畑地だが、イノシシ、シカが増加し、一団地が荒廃化。